

# 2006 年 IEEE 東京支部 総会資料

2006 年 3 月 1 日  
IEEE 東京支部  
<http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

# 2006 年 IEEE 東京支部総会

## 総 会

日 時： 2006 年 3 月 1 日（水） 11 時 00 分～12 時 30 分

場 所： 東京都千代田区丸の内 1-1-1 パレスホテル B1「ゴールデンルーム」

議 事：

1. 開会の挨拶
2. 役員の紹介
3. 支部長挨拶
4. 2005 年活動報告
5. 2005 年会計報告
6. 2006 年活動計画報告
7. 2006 年予算案承認
8. 2006 年新 Fellow 紹介および表彰式
9. 閉会の挨拶

## 2005/2006年IEEE東京支部役員・理事

### 1. 役員

Chair	支部長	原島 文雄	(東京電機大学)
Vice Chair	副支部長	畑 良輔	(住友電気工業)
Secretary	セクレタリー	林 秀樹	(住友電気工業)
Treasurer	トレジャラー	橋本 秀紀	(東京大学)

### 2. 理事会メンバー

原島 文雄	(東京電機大学)	安田 靖彦	(早稲田大学)
畑 良輔	(住友電気工業)	柴田 直	(東京大学)
林 秀樹	(住友電気工業)	笹瀬 巖	(慶応大学)
橋本 秀紀	(東京大学)	笠原 博徳	(早稲田大学)
佐藤 誠	(東京工業大学)	菅原 勉	(東芝)
秋葉 重幸	(KDDI)	松島 裕一	(情報通信研究機構)
小田 哲治	(東京大学)	瀬崎 薫	(東京大学)
金子 正秀	(電気通信大学)	竹内 精一	(東京電機大学)
三木 俊雄	(NTTドコモ)	雁部 洋久	(富士通研)
河野 隆二	(横浜国立大学)		

### 3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Promotion	佐藤 誠 (東京工業大学)	相澤 清晴 (東京大学)	張 曉林 (東京工業大学)
Fellow Nominations	秋葉 重幸 (KDDI)	井筒 雅之 (情報通信研究機構)	宇佐見 正士 (KDDI研究所)
Membership Development	小田 哲治 (東京大学)	山之内 宏 (ビスキヤス)	横山 明彦 (東京大学)
Nominations	金子 正秀 (電気通信大学)	羽鳥 好律 (東京工業大学)	長井 隆行 (電気通信大学)
Technical Program	三木 俊雄 (NTTドコモ)	後川 彰久 (NEC)	須田 博人 (NTTドコモ)
Publications	畑 良輔 (住友電気工業)	林 秀樹 (住友電気工業)	林 秀樹 (住友電気工業)
Student Activities	河野 隆二 (横浜国立大学)	山中 直明 (慶応大学)	落合 秀樹 (横浜国立大学)

## 2005 年 IEEE 東京支部活動報告

### 1. 支部総会

2005 年 3 月 16 日(水)、午後 2 時 00 分から弘済会館 4F「萩の間」において開催された。  
総会に引き続き 2005 年 新 Fellow の表彰式および講演会が行われた。

### 2. 支部理事会

第 1 回 3 月 16 日 弘済会館 4F 「梅(東)の間」 出席者 16 名

- ・ 2004 年 決算および監査報告
- ・ 2005 年 予算案の承認
- ・ 東京支部事務局の IT 環境整備の進捗状況
- ・ 2006 年 東京支部推薦 Fellow 候補者
- ・ 2005 年 総会資料
- ・ 東京支部設立 50 周年

第 2 回 6 月 18 日 住友会館 44F 出席者 15 名

- ・ 2005 年 SAC 活動計画
- ・ Region10 Meeting 参加報告
- ・ 第 1 回 Japan council 理事会の報告
- ・ 2005 年 FNC 活動計画
- ・ 信越支部設立について
- ・ 東京支部設立 50 周年記念セレモニー

第 3 回 10 月 12 日 住友会館 44F 出席者 15 名

- ・ 2005 年 SAC 活動計画
- ・ 2005 年 東京支部リポート
- ・ 2005 年 8 月末会計報告
- ・ 第 2 回 Japan council 理事会の報告
- ・ 2005 年 FNC 活動報告
- ・ 信越支部設立について
- ・ 東京支部設立 50 周年記念セレモニー

第 4 回 12 月 7 日 住友会館 44F 出席者 15 名

- ・ 2005 年 活動報告および 2006 年活動計画
- ・ 2005 年 決算予想および 2006 年予算案
- ・ Section Congress 参加報告
- ・ 2005 年度 SAC 活動報告
- ・ 2005 年度 FNC 活動報告
- ・ 東京支部設立 50 周年セレモニー

### 3. 支部主催講演会

- 第1回 3月16日 弘済会館 4F「萩の間」 参加者 67名  
「単一モード光ファイバ通信と半導体レーザ学」  
末松 安晴 氏（国立情報学研究所 所長）  
（2003年 IEEE James H. Mulligan Jr. Educational Medal 受賞者）

### 4. その他の会合

- (1) 「新 Fellow を囲む懇親会」 3月16日 弘済会館 4F「欄の間」  
参加者：2005年 新 Fellow、支部理事、他 計 40名
- (2) 「2005年 Region 10 Meeting」 3月30日-31日 シンガポール  
参加者：本部 RAB 役員、Region 10 役員、Section 代表、他 計 84名  
東京支部：林セクレター、橋本トシヤラ  
日本からのその他の参加者：竹内、雁部、平栗、里見、山本、  
北島、村岡、長尾、小山、石田、緒方、二宮 （敬称 略）
- (3) 「2005年 Section Congress」 10月14～17日午前 フロリダ  
参加者：東京支部 林セクレター  
日本からのその他の参加者：長尾、多田、竹内、雁部、平栗、里見、山本、龍田  
北島、深瀬、長尾、小山、谷岡、石田、矢野、末次 （敬称 略）  
計 17名
- (4) 「2005年 IEEE Region 10 Meeting の開催」 10月17日午後  
出席者：(3)と同一

### 5. 常設委員会等の活動

#### ・Fellow Nominations Committee

- \* 「2007年 IEEE フェロー候補者推薦のお願いと支部長名エンドース発給に関するお知らせ」を電子メールにて東京支部事務局より発信した。
- \* 支部長名エンドース発給依頼書、ノミネーションに関する手引き（日本語）、および、IEEE 本部作成のノミネーション手順書（英語）は、希望者に電子メールにて個別に送付した。尚、東京支部理事および役員、各 Chapter Chair および東京支部 Fellow の方には FTP サーバから上記文書をダウンロードできるようにした。

#### ・Publications Committee

会員への情報サービスとして、「IEEE Tokyo Bulletin」を発行し、東京支部の全会員

にメール配信すると共に、支部のホームページに掲載した。

・ Student Activities Committee

11月3日に横浜国立大学に於て IEEE 学生ブランチリーダーシップ トレーニングワークショップを開催した(参加者数 50 名)。また、ボストン支部との交換交流会(日本での開催)を計画中であり、実現に向けて先方と具体的な打合せを進めている。

6 . 東京支部 50 周年記念セミナー準備作業

今年 2005 年に IEEE 東京支部は設立 50 周年を迎えたことから、記念セミナーを 2006 年 3 月に開催する。橋本 Treasurer を幹事に実行委員会が発足され、準備を進めている。

日程：2006 年 3 月 1 日 (水)

会場：パレスホテル

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-1-1

TEL：03-3211-5211

予算 東京支部	1,200,000 円
Japan Council	1,500,000 円

スケジュール(予定)：

- 1 . 9:00 ~ 10:30 東京支部理事会
- 2 . 11:00 ~ 12:30 東京支部総会(Fellow 授賞式含む) \* 受付開始 10:30 ~
- 3 . 12:30 ~ 13:30 ランチ
- 4 . 13:30 ~ 17:30 50 周年記念セミナー \* 受付開始 13:00 ~
- 5 . 17:30 ~ 19:30 パーティ (Fellow 受賞者含む)

50 周年記念セミナー /パーティ内訳

- 1 ) 開会挨拶
- 2 ) IEEE Tokyo Section について
- 3 ) ご祝辞
- 4 ) 新規 Award 授賞式
- 5 ) コーヒーブレイク
- 6 ) 記念講演
- 7 ) パーティ (記念撮影込み)

以上

## 会員の状況

### 1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1999	6,693		0	255	410	5,097	689	242
2000	6,961	4.00	0	265	416	5,259	727	294
2001	7,200	3.43	0	275	431	5,143	983	368
2002	7,299	1.38	0	303	437	5,183	994	382
2003	7,318	0.26	2	308	429	5,595	587	397
2004	7,471	2.09	2	313	467	5,709	522	458
2005	7,708	3.17	2	326	467	5,856	541	516

略号： HM: Honorary Member    F: Fellow    SM: Senior Member  
M: Member    A: Associate    St: Student

### 2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50							
1965	694	4.20	1	10	110	333	98	142
1970	1,179	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	11.53	0	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	6.48	0	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1991	7,036	5.80	2	212	486	5,514	606	216
1992	7,439	5.73	2	222	522	5,832	633	228
1993	7,926	6.55	2	247	542	6,206	660	269
1994	8,345	5.29	1	267	548	6,374	714	441
1995	8,892	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
1996	9,186	3.31	2	305	577	7,000	896	406
1997	9,454	2.92	2	335	582	7,221	918	396
1998	10,010	5.88	2	360	591	7,640	913	504
1999	10,375	3.65	1	370	619	7,862	1,004	519
2000	10,867	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2001	11,380	4.72	1	411	657	8,041	1,499	771
2002	11,699	2.80	1	447	661	8,191	1,530	869
2003	11,853	1.32	3	453	665	8,981	856	895
2004	12,253	3.37	3	466	709	9,259	773	1,043
2005	12,703	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215

注：Affiliate会員は含まない。

## 2005年会計報告

単位：日本円

	予算 (1/1 ~ 12/31)	決算 (1/1 ~ 12/31)	対予算 (%)	備考
<b>収入の部</b>				
IEEE 本部勘定	17,091,400	19,327,610	113	予算は US\$1 = ¥97を適用
・支部リベート	2,754,800	3,281,007	119	US\$29,563.95 @ ¥110.98
・Section Assessment	14,259,000	16,046,603	113	前期US\$142,042.73 @ ¥106.38 後期US\$3,567.22 @ ¥114.01
・その他	77,600	-	-	
雑収入	2,000	2,778	139	受取利息
積立金取崩	-	-	-	
・事務局設備基金取崩	-	-	-	
・為替変動準備金取崩	-	-	-	
収入合計	17,093,400	19,330,388	113	
<b>支出の部</b>				
Councilへの拠出金	14,259,000	16,046,603	113	前期US\$142,042.73 @ ¥106.38 後期US\$3,567.22 @ ¥114.01
会合費	2,000,000	840,194	42	
・総会費	700,000	774,497	111	総会資料印刷代/懇親会費を含む
・講演会費	250,000	0	0	総会費用に含む(2005年度は開催1回)
・理事会費	250,000	44,710	18	
・その他会合費	800,000	20,987	3	
Committee活動費	1,000,000	97,980	10	Tokyo Bulletin発行/HP制作費
Student Branch支援費	500,000	320,000	64	Student Workshop 支援費
事務局設備費	400,000	48,509	12	パソコンリース料等(2005年3月末で解約)
ITサービス運用費	500,000	738,990	148	ハウジング費用/常駐保守
通信費	350,000	60,859	17	Internet通信費 / ハガキ / 宅急便費
支払手数料等	250,000	291,693	117	前年度監査費用 / 銀行手数料等
予備費	1,000,000	899,934	90	求人広告掲載費 紹介予定派遣手数料(東京支部事務局員)他
積立金繰入	-	-	-	
・事務局設備基金繰入	-	-	-	
・為替変動準備金繰入	-	-	-	
支出合計	20,259,000	19,344,762	95	
<b>収支</b>	-3,165,600	-14,374	27	
前年度繰越金	11,230,079	11,230,079	100	
次期繰越金	8,064,479	11,215,705	139	(内小口現金20,000)



# 財産目録

単位：日本円

科 目	2005年12月31日	2004年12月31日
<b>Balance Sheet</b>		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	20,000	0
普通預金	11,195,705	11,230,079
定期預金	16,698,001	16,698,001
現金・預金合計	27,913,706	27,928,080
その他流動資産	0	0
流動資産合計：	27,913,706	27,928,080
2. 固定資産		
事務所賃借保証金(A)	0	0
電話加入権	145,600	145,600
機器および備品	3,853,815	3,853,815
減価償却累計額	(3,493,336)	(3,853,815)
固定資産合計：	506,079	145,600
資産合計：	28,419,785	28,073,680
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	0	0
2. 固定負債		
	0	0
負債合計：	0	0
3. 正味財産		
	28,419,785	28,073,680
負債および正味財産合計：	28,419,785	28,073,680
<b>Statement of Activities</b>		
I. 収益の部		
支部リベート	3,281,007	3,074,819
Section Assessment	16,046,603	15,366,482
その他(SM報奨金、Student Subsidy)	-	20,504
受取利息	2,778	2,766
雑収入(B)	-	16,000
収益合計：	19,330,388	18,480,571
. 費用の部		
会合費	840,194	2,057,171
Publication Expenses	97,980	270,411
Student Branch支援費	320,000	1,323,273
Japan Councilへの拠出金	16,046,603	15,329,654
事務局費および一般管理費	2,039,985	1,986,332
減価償却費	94,038	354,335
費用合計：	19,438,800	21,321,176
正味財産増減額	(108,412)	(2,840,605)
期首正味財産	28,544,197	31,384,802
期末正味財産	28,435,785	28,544,197
<b>Statement of Cash Flows</b>		
I. 収入の部		
支部リベート	3,281,007	3,074,819
Section Assessment	16,046,603	15,366,482
その他(SM報奨金、Student Subsidy)	-	20,504
受取利息	2,778	2,766
雑収入(B)	-	16,000
収入合計：	19,330,388	18,480,571
. 支出の部		
会合費	840,194	2,057,171
Publication Expenses	97,980	270,411
Student Branch支援費	320,000	1,323,273
Japan Councilへの拠出金	16,046,603	15,329,654
事務局費および一般管理費	2,039,985	1,929,532
設備備品		470,190
固定資産等購入	94,038	0
支出合計：	19,438,800	21,380,231
現金・預金増減額	(108,412)	(2,899,660)
期首現金・預金残高	27,928,080	30,827,740
期末現金・預金残高	27,819,668	27,928,080

(A) 東京支部事務局のあるビルが競売となり、事務所賃借保証金の回収が不可能となる。

(B) Japan Councilとの「事務所賃借料の供託契約書」に基づく供託金。

## 【参考資料】

## 2005年IEEE Japan Council会計報告

単位：日本円

	予 算 (1/1～12/31)	決 算 (1/1～12/31)	対予算 (%)	備 考
収入の部				
◆IEEE 本部勘定	840,480	963,861	115	予算ではUS\$1=¥96を適用
・Chapter Rebate	840,480	963,861	115	US\$8,685.00@¥110.98
◆各支部よりの拠出金	21,984,000	26,288,290	120	US\$228,820.86平均@¥105.80
・札幌支部		454,960		前期分:US\$4,339.57@¥104.84 (後期分:US\$58.13次年度前期に請求)
・仙台支部		1,089,471		前期分:US\$10,391.75@¥104.84 (後期分:US\$256.33次年度前期に請求)
・東京支部		15,642,405		前期分:US\$147,042.73@¥106.38 後期分:US\$3,567.22@¥114.01手数料2500円
・名古屋支部		1,941,347		前期分:US\$18,171.47@¥107.00手数料3000円 (後期分:US\$246.32次年度前期に請求)
・関西支部		3,809,389		前期分:US\$35,668.44@¥106.80 (後期分:US\$609.06@¥113.00手数料2500)
・広島支部		809,972		前期分:US\$7,606.80@¥106.48 (後期分:US\$83.12次年度前期に請求)
・四国支部		337,082		前期分:US\$3,128.09@¥107.76 (後期分:US\$175.00@¥112.55)
・福岡支部		1,214,219		前期分:US\$11,365.14@¥106.83 後期分:US\$4,244.18@¥117.98手数料1500
◆雑収入	500	183	37	受取利息等
合 計	22,824,980	27,252,334	119	
支出の部				
◆事務局費	13,850,000	13,478,995	97	
・給料諸給	9,500,000	6,468,111	68	交通費/労働保険/所得税を含む
・臨時雇費	-	-	-	
・事務所賃借料	1,800,000	1,898,431	105	
・事務所設備費用	400,000	994,980	249	IT環境整備費
・通信費	500,000	242,164	48	電話回線使用料、切手など
・交通費	250,000	2,830	1	
・事務用品費	150,000	113,169	75	
・事務機器レンタル費	800,000	1,018,149	127	コピー機・ファックス機/コピー使用料等
・支払手数料等	450,000	2,741,161	609	銀行手数料/会計監査費用/派遣社員費用など
◆会合費	2,000,000	1,430,623	72	
・理事会・各委員会費	1,500,000	1,362,615	91	参加旅費を含む、広島支部との交流費
・その他会合費	500,000	68,008	14	
◆Section支援費	2,200,000	2,190,280	100	札幌、仙台、広島、四国、福岡、関西各支部
◆Chapter支援費	6,340,480	6,041,165	95	Chapter Rebateを含む
◆Student Branch支援費	1,500,000	1,133,446	76	SAC Workshop開催費用・参加旅費等
◆予備費	1,000,000	21,000	2	WIE支援費
合 計	26,890,480	24,295,509	90	
収 支	-4,065,500	2,956,825	-73	
◆前年度繰越金	17,468,167	17,468,167	100	
◆次年度繰越金	13,402,667	20,424,992	152	

## 2006 年 活動計画(案)

### 1. Japan Council 運営の支援

国内他支部(7支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。東京支部の Secretary および Treasurer は Japan Council の同役職を兼務しており、それぞれの役割において Council の活動支援を推進する。

### 2. 信越支部設立の支援

信越支部設立に向けて、支部活動および設立準備金等の支援を行い、新支部運営の支援を行う。

### 3. ボストン支部との交流

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部との姉妹支部協定をふまえて、最初の具体的な活動として 2004 年 9 月に東京支部および JC の学生支部から選考された学生 6 名がボストン支部を訪問し、両支部学生間の交流を実現させたが、次回はボストン支部の学生が日本を訪問する予定となっている。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生生活動の活性化につながるよう、今後も引き続き相互訪問による交流を深めるよう活動を推進する。

### 4. 委員会活動

#### 4-1. Student Branch 活動支援

東京支部(関東・甲信越地方)の学生ランチの数は、東大、東工大、東電大、慶大、横浜国大、武蔵工業大学の 6 校である。日本全国の学生ランチはその他、北大、東北大、静岡大、阪大、京大、立命館大、奈良先端科学技術大、熊本大、山口大、香川大、名古屋大があり(全国合計 16 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。学生ランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生生活動への積極的な参加の呼びかけやランチ活動への経済的支援などを通じたランチ活動の活性化に協力するとともに、ランチ新設への働きかけを行う。また、ボストン支部との姉妹支部協定を踏まえて、ボストン支部とのランチ間交流を継続する。

#### 4-2. 会員数および Senior Member 数の増強

会員数の増加率の低迷(特に Senior Member)を改善するため、会員サービスおよび広報活動を強化する。組織的な働きかけ、広報活動などを通じて Senior Member 会員を増やしていく。

[参考]2003 年 12 月末 7318 人(前年比 会員:0.3%増、SM:388 人--1.8%減)

2004 年 12 月末 7471 人(前年比 会員:2.1%増、SM:467 人--20.4%増)

2005 年 12 月末 7708 人(前年比 会員:3.1%増、SM:467 人--増減なし)

#### 4-3. IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力をを行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2005 年と同様にフェローノミネーション連絡表、ノミネーション作成のための情報などを支部ホームページに掲載することによるノミネータ支援の強化を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

#### 4-4. 東京支部講演会の開催

多くの会員参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画し、開催回数を増やす。

#### 4-5. 会員への情報提供

Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin(日本語、英語)を充実させ、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。インターネットサービスの拡充を図るため、2005 年より運用を始めた事務局独自サーバを活用し、会員への情報サービスの向上を図る。

以上

## 東京支部

## 2006年予算（案）

単位：日本円

	2006年予算案 (1/1～12/31)	備考
<b>収入の部</b>		
◆IEEE 本部勘定	20,263,000	US \$1=¥115を使用
・支部レポート	3,266,000	US \$28,400(Gross)を想定
・Section Assessment	16,905,000	US \$147,000(Gross)を想定
・その他	92,000	Senior Member報奨金等
◆雑収入	2,000	受取利息等
収入合計	20,265,000	
<b>支出の部</b>		
◆Councilへの拠出金	16,905,000	Section Assessment 全額
◆会合費	1,350,000	
・総会費	700,000	資料印刷代/証書額/懇親会費を含む
・講演会費	250,000	会場費、謝礼金を含む
・理事会費	100,000	
・その他会合費	300,000	
◆Committee活動費	100,000	
◆Student Branch支援費	500,000	Student Paper Contest賞金/SAC Workshop
◆事務局設備費	100,000	ファシリティ
◆ITサービス運用費	1,000,000	常駐保守/トラブル対応/HP 等
◆通信費	50,000	Internet通信費/宅急便/ハガキ・切手等
◆支払手数料等	350,000	銀行手数料、前年度監査費用等
◆50周年記念費	500,000	
◆予備費	1,000,000	
支出合計	21,855,000	
<b>収支</b>	-1,590,000	
◆前年度繰越金	11,215,705	
◆次年度繰越金	9,625,705	

## 2006年新Fellows

	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	荒川 泰彦 Arakawa Yasuhiko	東京大学	for contributions to the understanding of quantum confinement effects in semiconductor lasers and the development of quantum dot lasers.
2	東京	古山 透 Furuyama Tohru	株式会社 東芝	for contributions to high speed dynamic random access memory (DRAM) design and technologies.
3	東京	原 辰次 Hara Shinji	東京大学	for contributions to robust, servo tracking, and sampled-data control theories.
4	東京	橋本秀紀 Hashimoto Hideki	東京大学	for contributions to mechatronics systems.
5	東京	林秀樹 Hayashi Hideki	住友電気工業(株)	for contributions to and leadership in compound semiconductor device technologies.
6	東京	平沢 一紘 Hirasawa Kazuhiro	東京農工大学	for contributions to antennas for mobile communications.
7	東京	小塚 洋司 Kotsuka Youji	東海大学	for contributions to ferrite application to RF/microwave devices.
8	東京	黒田 忠広 Kuroda Tadahiro	慶応義塾大学	for contributions to low-power and high-speed very large scale integrated (VLSI) design.
9	東京	桑原 秀夫 Kuwahara Hideo	富士通研究所	for contributions to high capacity optical fiber communication technologies.
10	東京	中川正雄 Nakagawa Masao	慶応義塾大学	for contributions to the advancement of code division multiple access (CDMA) and mobile communications.
11	東京	大賀寿郎 Ohga Juro	芝浦工業大学	for research, development and standardization activity for electroacoustical transducers of telephony.
12	東京	酒匂 裕 Sakou Hiroshi	(株)日立製作所中央研究所	for contributions to machine vision technology.
13	東京	鈴木 正敏 Suzuki Masatoshi	KDDI研究所	for contributions to high-speed optical communication systems.
14	東京	田原 修一 Tahara Shuichi	NEC 中央研究所	for contributions to superconducting digital integrated circuits and single-flux quantum electronics.
15	東京	谷口 智彦 Taniguchi Tomohiko	富士通研究所	for contributions to speech coding technologies and development of digital signal processing (DSP) based communication systems.
16	東京	徳満 恒雄 Tokumitsu Tsuneo	ユーディナデバイス株式会社	for contributions to uniplanar and 3-dimensional monolithic microwave integrated circuits (MMICs).
17	東京	鷺尾 勝由 Washio Katsuyoshi	日立製作所中央研究所	for contributions to high-speed silicon and silicon germanium bipolar/Bi complimentary metal oxide semiconductors (CMOS) device and circuit technologies.
18	東京	渡辺 貞 Watanabe Tadashi	文部科学省	for contributions to supercomputer architectures.

## **The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws**

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

### **Article I - Name and Territory**

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto and Koh-Shinetsu districts in Japan with postal codes starting 100 through 409 and 940 through 959. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

### **Article II - Officers**

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

### **Article III - Standing Committees**

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
  - Chapter Promotion
  - Fellow Nominations
  - Membership Development
  - Nominations
  - Technical Program
  - Publications
  - Student Activities
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.

3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

**Article IV - Management**

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

**Article V - Nomination and Election of Officers**

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

**Article VI - Business Meeting**

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

**Article VII - Finances**



1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

**Article VIII - Amendments**

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ( $2/3$ ) majority vote of the Section Executive Committee.
3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

- 
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 22 May 2001. The RAB approved the revision on 04 June 2001.

## 事務所所在地

〒105-0003 東京都港区西新橋 3 丁目 6 番 2 号 西新橋企画ビル 8 階

Email: [tokyosec@ieee-jp.org](mailto:tokyosec@ieee-jp.org)

### 交通

- ・ JR 新橋駅 烏森口から徒歩 10 分
- ・ 地下鉄都営三田線 内幸町駅から徒歩 6 分

